

平成24年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年12月2日

上場取引所 大

上場会社名 ピープル株式会社

コード番号 7865 URL <http://www.people-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐淵千鶴子

問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田留美子

TEL (03) 3862-2768

四半期報告書提出予定日 平成23年12月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年1月期第3四半期の業績 (平成23年1月21日～平成23年10月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年1月期第3四半期	1,970	0.8	161	△13.4	163	△17.8	94	△24.4
23年1月期第3四半期	1,954	△2.6	186	10.4	198	29.0	125	38.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年1月期第3四半期	21.64	21.63
23年1月期第3四半期	28.67	28.65

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年1月期第3四半期	2,193	1,815	82.8	414.73
23年1月期	2,351	1,926	81.9	442.02

(参考)自己資本 24年1月期第3四半期 1,815百万円 23年1月期 1,926百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年1月期	-	0.00	-	50.00	50.00
24年1月期	-	0.00	-	-	-
24年1月期(予想)	-	-	-	-	-

(注)当四半期における配当予想の修正の有無: 無

平成24年1月期の期末配当予想につきましては、改めて、年末商戦を見極めた上で発表させていただきます。

3. 24年1月期の業績予想(平成23年1月21日～平成24年1月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△4.0	259	△31.9	258	△34.5	149	△37.8	34.22

(注)当四半期における業績予想数値の修正有無: 有

4.その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(2)会計処理の原則・手続き、表示方法の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更： 有

② ①以外の変更： 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き表示方法等の変更の有無となります。

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年1月期第3四半期	4,437,500株	23年1月期	4,437,500株
-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年1月期第3四半期	62,193株	23年1月期	80,193株
-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)

24年1月期第3四半期	4,366,182株	23年1月期第3四半期	4,357,523株
-------------	------------	-------------	------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点に金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

5. 平成24年1月期第4四半期会計期間(平成23年10月21日～平成24年1月20日)および
平成24年1月期通期(平成23年1月21日～平成24年1月20日)の業績予想

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		第4四半期(当期) 純利益		1株当たり四 半期(当期) 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
24年1月期第4四半期	830	△13.7	98	△49.6	95	△51.4	55	△52.3	12.58
23年1月期第4四半期	962	3.4	194	16.4	195	△11.7	115	△20.1	26.48
24年1月期	2,800	△4.0	259	△31.9	258	△34.5	149	△37.8	34.22
23年1月期	2,916	△0.7	380	13.4	393	5.0	240	2.4	55.15

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
【第3四半期会計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
【第3四半期累計期間】	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) カテゴリー別販売の状況	10
【第3四半期会計期間売上高】	10
【第3四半期累計期間売上高】	10
【新発売商品】	10

【添付資料】

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

	第3四半期会計期間 (平成23年7月21日～平成23年10月20日)		第3四半期累計期間 (平成23年1月21日～平成23年10月20日)	
	金額	対前年同期間比	金額	対前年同期間比
売上高	733百万円	7.5% 増	1,970百万円	0.8% 増
営業利益	73百万円	22.0% 減	161百万円	13.4% 減
経常利益	75百万円	23.6% 減	163百万円	17.8% 減
第3四半期純利益	44百万円	24.3% 減	94百万円	24.4% 減

当第3四半期はお盆商戦での玩具部門の活況や新製品発売が集中し当四半期売上高を7億33百万円前年同期間対比7.5%増へ引き上げ、僅かに減収となった上半期から当期累積では0.8%増と前期並まで補いました。

しかし、急激な円高差益を受け著しく原価低減された前年同期間の利益に対し、当期の対円の米ドル安が原価減に還元する差益幅は縮小している上、中国製造コスト上昇に基づく仕入れ新価格が当第3四半期から本格適用され始めた事から原価は若干上昇に転じ、損益構造を揺るがす段階では無いものの、当第3四半期では前期比減益を余儀なくされております。

当四半期の玩具部門では既存商品の販売も安定しており堅調に推移した上、新製品発売を着々と実行していきま

した。乳児・知育玩具ではお米のおもちゃ新シリーズを全5アイテムで発売し、広告キャンペーン直後から消費者の反応が早期に現れ、前年に発売した「お米のつみき」と共に好回転し当四半期の売上に影響しました。近年失われてしまった乳児玩具のギフト市場復活に着眼したお米のシリーズは、狙いが的中したことから流通の強い関心を集めています。

一方同カテゴリーでは、当期2割増で推移していた既存品の「やりたい放題ビッグ版」や乳幼児の低単価商品群「ノンキャラ良品シリーズ」等を製造する中国工場が事実上の契約不履行に相当する大幅納期遅延を発生し、当第3四半期に必要な多数のアイテム入荷不足で売上にも若干影響し始めております。当該中国工場では、毎年安定製造する当社製品の製造ラインキャパシティを大きく超えるオーダーを他社から受注し今回の問題に発展しましたが、長期取引先だけに想定外の事態に対し、次期四半期で緊急対策が必要となりました。

女児玩具では、お人形がお盆商戦で健闘し、8月のCMキャンペーンで既存品の「病院に変身救急車」や「おんぶとだっこ」「おしゃべり歯ブラシ」等のお道具も良好に売上を支えています。10月度では年末限定品の「こぐまのぼぼちゃん」等が目立って好回転していますが、当四半期中盤より、女児玩具全般市場において他の玩具カテゴリーに比べ下回る等、一方では停滞傾向もあります。そうした影響からか、女児玩具の中ではCMにより「エコパピエ」(税込4,179円)に回転拍車がかかった事でエコホビーの第2弾新製品「エコカラー」(税込4,179円)に流通人気が集まり当四半期の拡販につながりました。

乗り物・遊具においても、安定回転の「公園レーサー」と同じ2歳ターゲットで、遊びの異なる足蹴り自転車「ケッターバイク」(税込9,975円)を発売しました。類似足蹴りアイテムの競合品出現も予想外に多い中で、ゆっくりと回転し始めました。

自転車部門では、3歳中心ターゲットの16インチ幼児車「3～9自転車」(税込23,940円)が当四半期で大手量販店に拡販され売上増となる一方、既存品の「いきなり自転車シリーズ」では、幼児自転車の大きなシェアを握る量販店の安価PB品多量販売という、前年と異なる品揃え販売環境が当社品セアウトに影響し始めています。

当四半期10月度では、新規市場開拓の為の大きな挑戦をしております。一つは、自転車部門において幼児ターゲットではない、大人向け通勤自転車「ジェントル・ギア」を一般的軽快車である通勤自転車の標準価格は3万円であるのに対し、税込み49,980円で発売しました。悪質で傍若無人な自転車走行マナー違反が社会問題となっていることに着眼し、“安全走行”機能を重視したウインカー付き自転車で、マナーを守るカッコ良さをアピールする通勤車です。「内閣総理大臣閣下、自転車専用レーンを早く造って下さい！そこを走るジェントルギアはもう創りました！」という新聞広告は、予想以上に世論的反響があり、ツイッターやメディアに取り上げられ話題は加熱中です。

もう一つは、トイ・ファニチャーという新市場開拓を玩具流通に向け提案しました。幼児用木製机で商品名は「つくえちゃん」(税込20,970円)です。幼稚園の入学祝いにピッタリな机として、“つくえちゃん”にタッチするとインターラクティブに遊び相手となり、幼くても楽しく机に慣れる習慣をつけていきます。本格的木製品ですので、小学校低学年のリビング学習机として、子供部屋では本棚にも変身し、長く使用できるユニークな工夫をしました。家具流通にも取り上げられ販売開始しています。

上述冒頭にご報告の通り、こうした新製品発売ラッシュによる牽引の一方で、営業利益で著しく円高差益が原価減に反映した前年に対し、当期では原価上昇に転換したこと、又、次期新製品の試作開発投資が当第3四半期に発生点数も集中した事等で営業利益は第3四半期会計期間では22.0%減益、当第3四半期累計期間でも同様の理由により13.4%減益となりました。

又、経常利益では、前述当期営業利益減益、及び、前年同第3四半期期間では投資有価証券売却益の計上も影響し、第3四半期会計期間では前期比23.6%減となり、累計期間においては同期間対比17.8%減益となりました。

結果、当第3四半期累計期間純利益は94百万円となり、前年同期間対比では24.4%減益となりました。

尚、当第3四半期会計期間に遭遇した事象として、製造委託先の一つであるタイの工場が、報道でもある通り水害により製造活動の一時休止を余儀なくされました。これにより「ピタゴラス・プレートタイプ」の販売に影響を受け、主に当期の海外販売に直接影響を受ける見通しです。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産合計は、21億93百万円となりました。前事業年度末から1億58百万円の減少となりましたが、主に配当金支払による現金及び預金の減少によるものです。

負債合計では前事業年度末から47百万円減少の3億78百万円となりました。

純資産は主に四半期純利益の計上および利益剰余金の配当により、前事業年度末より1億11百万円減少の18億15百万円、自己資本比率は82.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、期首より3億28百万円減少し（前第3四半期累計期間比較では1億31百万円の増加）14億12百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の増加やたな卸資産の増加、および法人税等の支払により66百万円の減少（前年同期間比較では44百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得による支出により54百万円の減少（前年同期間比較では49百万円の増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金支払により、2億8百万円の減少（前年同期間比較では13百万円の減少）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

(次期第4四半期および通期見通し)

タイの洪水による製造活動停止は海外販売に影響し、又、前述中国工場での問題から工場移転を余儀なくされる事態に発展し、現在、解決途上にあります。このため、当期クリスマス重点商品「やりたい放題ビッグ版」が入荷不足を生じ、仮需要で動く11月度売上直結し影響し、下方修正を余儀なくされています。現時点で商品供給開始時期は不確実な点も多く、又、クリスマス需要は未だ不透明でプラス要因が見えていない事から、次期第4四半期及び通期は、減収減益を避けられない見通しで、当期通期の売上高は4ポイント程は前年を下回る予想です。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

当社では実地棚卸を第2四半期末、期末で行っており、第3四半期会計期間末の棚卸高算出に関しては実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、販売不振が予想される不動在庫等の評価の洗い直しを目的とするたな卸資産の簿価切り下げにつきましては、収益性の低下が明らかなもののみ正味売却価額を見積もり、簿価切り下げを行う方法をとっております。なお、当期第3四半期ではその対象となるたな卸資産はありません。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっており、従来の四半期における算出方法から大きな変更はありません。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関し、四半期においては加算減算項目や税額控除項目の内、重要なものに限って算出しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に、経営環境等の著しい変化、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニング（将来の法人税等の発生について予測し計画すること）を利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

資産除去債務に関する会計基準の適用

当期より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ63千円減少し、税引前四半期純利益は1,905千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による投資その他の資産の「その他」の変動額は1,905千円となります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年10月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,412,959	1,740,260
受取手形及び売掛金	341,927	278,054
商品	244,911	158,172
原材料	6,516	1,846
その他	19,295	25,531
貸倒引当金	△647	△527
流動資産合計	2,024,962	2,203,336
固定資産		
有形固定資産	72,712	55,195
無形固定資産	2,850	3,687
投資その他の資産		
投資有価証券	28	112
その他	92,258	88,957
投資その他の資産合計	92,286	89,069
固定資産合計	167,848	147,952
資産合計	2,192,809	2,351,288
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	177,322	143,494
未払法人税等	30,438	136,530
その他	120,467	95,267
流動負債合計	328,227	375,290
固定負債		
長期末払金	50,000	50,000
固定負債合計	50,000	50,000
負債合計	378,227	425,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,712
利益剰余金	1,444,082	1,567,480
自己株式	△33,235	△42,854
株主資本合計	1,812,352	1,926,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,231	△140
評価・換算差額等合計	2,231	△140
純資産合計	1,814,583	1,925,997
負債純資産合計	2,192,809	2,351,288

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年10月20日)
売上高	1,954,183	1,970,252
売上原価	957,203	989,737
売上総利益	996,980	980,515
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	258,461	246,888
販売促進費	28,287	35,171
運賃	120,852	119,380
役員報酬	48,553	45,154
給料及び手当	142,641	154,144
支払手数料	44,703	46,659
研究開発費	54,586	59,617
その他	112,593	112,148
販売費及び一般管理費合計	810,677	819,161
営業利益	186,303	161,355
営業外収益		
受取配当金	1,099	187
投資有価証券売却益	14,833	—
受取手数料	—	637
受取補償金	—	535
その他	936	604
営業外収益合計	16,868	1,963
営業外費用		
為替差損	3,214	690
投資事業組合運用損	2,240	—
その他	—	9
営業外費用合計	5,454	699
経常利益	197,717	162,618
特別損失		
固定資産除却損	—	17
固定資産売却損	—	45
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,842
特別損失合計	—	1,904
税引前四半期純利益	197,717	160,715
法人税、住民税及び事業税	61,127	53,542
法人税等調整額	11,638	12,705
法人税等合計	72,766	66,247
四半期純利益	124,952	94,467

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成22年7月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年7月21日 至平成23年10月20日)
売上高	681,526	732,807
売上原価	331,867	373,028
売上総利益	349,659	359,779
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	83,191	91,492
販売促進費	5,181	12,621
運賃	41,076	41,177
役員報酬	15,046	15,046
給料及び手当	48,217	50,870
支払手数料	14,922	15,510
研究開発費	14,716	24,371
その他	34,007	35,928
販売費及び一般管理費合計	256,356	287,016
営業利益	93,303	72,762
営業外収益		
受取配当金	113	—
投資有価証券売却益	3,057	—
受取手数料	—	637
受取補償金	—	535
為替差益	1,088	591
その他	3	3
営業外収益合計	4,260	1,766
営業外費用		
投資事業組合運用損	72	—
営業外費用合計	72	—
経常利益	97,491	74,528
特別損失		
固定資産売却損	—	45
特別損失合計	—	45
税引前四半期純利益	97,491	74,483
法人税、住民税及び事業税	40,208	29,473
法人税等調整額	△707	1,113
法人税等合計	39,502	30,586
四半期純利益	57,989	43,898

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	197,717	160,715
減価償却費	32,003	35,679
投資有価証券売却損益 (△は益)	△14,833	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,240	△460
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,842
売上債権の増減額 (△は増加)	△80,921	△63,873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△103,521	△91,409
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,792	33,828
その他	1,635	15,357
小計	40,112	91,678
利息及び配当金の受取額	1,107	194
法人税等の支払額	△151,484	△157,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	△110,265	△65,919
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,028	△54,402
投資有価証券の取得による支出	△239,171	—
投資有価証券の売却による収入	169,214	—
投資事業組合からの分配による収入	—	544
その他の収入	—	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,985	△53,798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△274	—
ストックオプションの行使による収入	—	9,612
配当金の支払額	△195,469	△217,198
その他	317	△871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,427	△208,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△408,693	△328,171
現金及び現金同等物の期首残高	1,689,414	1,740,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,280,721	1,411,971

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) カテゴリー別販売の状況

当第3四半期累計期間の販売の状況について、当社は単一セグメントとしているため、カテゴリー別に示すと以下の通りです。

①第3四半期会計期間売上高

(単位 千円)

カテゴリー名	前第3四半期会計期間 (自平成22年7月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年7月21日 至平成23年10月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	289,130	282,856	97.8
女兒玩具	162,990	174,375	107.0
遊具・乗り物	156,349	166,073	106.2
その他	73,057	109,503	149.9
合計	681,526	732,807	107.5

②第3四半期累計期間売上高

(単位 千円)

カテゴリー名	前第3四半期累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年10月20日)	前年同期間比 (%)
乳児・知育玩具	785,961	736,230	93.7
女兒玩具	439,799	451,007	102.5
遊具・乗り物	514,743	540,805	105.1
その他	213,680	242,210	113.4
合計	1,954,183	1,970,252	100.8

③新発売商品

カテゴリー名	第1四半期・第2四半期 新発売商品		当第3四半期 新発売商品	
	商品名	標準小売価格 (税込)	商品名	標準小売価格 (税込)
乳児・知育玩具	「ピタゴラスつみき」基本セット	¥4,410	これならじゃまと言われず「ほめられ放題」	¥4,179
	「ピタゴラスつみき」DXセット	¥9,975		
	指先の知育「フルコース」他計5種	¥945～¥3,129	お米のおもちゃシリーズ「お米のなめかみ」他(単品)計4品	¥1,050～¥1,680
	「ウチのお風呂は遊園地」	¥3,129	「お米のおもちゃセット」	¥5,250
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「NEWなめられ太郎」他計3種	¥525～¥1,344		
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「この居心地とママの声、ママのおひざヨ！」	¥5,229		
女兒玩具	お人形「タンポポのぼぼちゃん」	¥4,599	お人形「こぐまのぼぼちゃん」	¥4,599
	着せかえ「タンポポのチュニックセット」他計4種	¥1,260～¥1,470	着せかえ「こぐまのフードベストセット」	¥1,470
	「NEWおんぶとだっこ」	¥1,029	「ぼぼちゃんデビューセット」	¥9,954
	「おむつ替えごっこ」	¥819	キラデコ「エコカラー」	¥4,179
	「おしゃべりスプーンとぼぼちゃん弁当」	¥2,079		
	「おはしとフォークでハイ、あ～ん」	¥819		
	「おしゃべりミルク」	¥714		
	「お洗たくごっこ ドラム式洗濯機」	¥3,654		
	夏季限定「プールもいっしょぼぼちゃん」	¥2,700		
	「ぼぼちゃん・ちいぼぼちゃんのおしゃべりデジカメ」	¥1,344		
遊具・乗り物	「いきなり自転車W(ダブル)」	¥26,040	足付き自転車「ケッターバイク」	¥9,975
	「いきなり自転車折りたたみオレンジ(リニューアル)」	¥21,840	通勤自転車「ジェントルギア」	¥49,980
	「3から9自転車」シルバーピンク、シルバーグリーン	各¥23,940		
	「公園レーサー」限定色(3種)	各¥3,000		
新規カテゴリー	—————		「つくえちゃん」	¥20,790